



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 コメ兵

コード番号 2780 URL <http://www.komehyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 卓児

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長 (氏名) 鳥田 一利

TEL 052-249-5366

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日

平成26年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,495	7.2	934	△19.2	954	△17.2	596	△15.4
26年3月期第2四半期	18,188	20.2	1,156	132.3	1,152	134.9	705	154.4

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 602百万円 (△14.8%) 26年3月期第2四半期 707百万円 (158.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	54.46	—
26年3月期第2四半期	64.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	24,665	15,497	15,497	62.8	62.8	1,414.47
26年3月期	23,306	15,059	15,059	64.6	64.6	1,374.44

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 15,497百万円 26年3月期 15,059百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	11.00	—	15.00	26.00
27年3月期	—	14.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	4.4	3,100	3.3	3,100	3.7	1,900	3.6	173.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	11,257,000 株	26年3月期	11,257,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	300,369 株	26年3月期	300,369 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	10,956,631 株	26年3月期2Q	10,956,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年11月12日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

その説明内容については、当日使用する四半期決算説明資料を開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内需要を中心に緩やかな回復基調を続けております。個人消費におきましては、外国人旅行客の増加による消費の底支えがあったものの、4月に実施された消費税増税により先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは、中期戦略に基づき様々な販売促進施策を実施し、既存店の安定成長と、新規出店によるシェア拡大を図ったことから、売上高は順調に推移いたしました。しかしながら、消費税増税前の駆け込み需要の反動減に対応するための各種販促施策に伴う販売費増加、及び、新規出店に伴う人員増加等により利益面につきましては厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は19,495百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は934百万円（同19.2%減）、経常利益は954百万円（同17.2%減）、四半期純利益は596百万円（同15.4%減）の増収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業では、平成26年5月に「KOMEHYO 渋谷公園通り店」（東京都渋谷区）を、平成26年8月に「KOMEHYO あべの店」（大阪市阿倍野区）をオープンいたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、「KOMEHYO」17店舗、「KOMEHYO買取センター」4店舗、「LINK SMILE」8店舗、「USED MARKET」3店舗となりました。

中古品仕入高につきましては、TVCM等による積極的な買取促進活動が奏功し、また、新規出店もあったことから個人買取が概ね順調に推移し、個人買取仕入高は8,539百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

売上高につきましては、高額商品を中心に消費税増税前の駆け込み需要の反動減がみられましたが、免税販売が伸びたことに加え、オンラインストアの強化、中古品取扱事業者向けの販売施策が奏功し、順調に推移いたしました。

営業利益につきましては、売上高総利益率が比較的低位な中古品取扱事業者向け売上高の増加、各種販売施策の強化に伴う販売費の増加、並びに新規出店による人員増加に伴う人件費の増加等により、減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は17,967百万円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益は1,001百万円（同18.0%減）となりました。

#### ② タイヤ・ホイール事業

タイヤ・ホイール事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、15店舗であります。

当第2四半期連結累計期間は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減により、タイヤを中心に自動車用品小売業界全体が弱含みで推移し、売上高が伸び悩んだことから、前年同四半期に比べ減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は1,476百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業損失は85百万円（前年同四半期は77百万円の営業損失）となりました。

#### ③ その他の事業

当第2四半期連結会計期間末の主な不動産賃貸物件は6カ所であります。

当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は72百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は18百万円（同41.7%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は16,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,288百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加836百万円及びたな卸資産の増加1,028百万円が売掛金の減少551百万円を上回ったことによるものであります。また、固定資産は7,884百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が89百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、24,665百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,358百万円増加いたしました。

##### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,132百万円増加いたしました。これは主に買掛金62百万円の減少及び、賞与引当金62百万円の減少、並びに、未払法人税等511百万円の減少を、短期借入金の増加2,000百万円が上回ったことによるものであります。また、固定負債は1,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が194百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、9,167百万円となり、前連結会計年度末に比べ920百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は15,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ438百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益596百万円の計上が剰余金の配当164百万円を上回ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.8% (前連結会計年度末は64.6%) となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ806百万円増加し、3,655百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、297百万円の資金支出となりました。(前年同四半期は155百万円の資金収入)

これは主に、税金等調整前四半期純利益949百万円、減価償却費321百万円及び売上債権の減少額565百万円を、たな卸資産の増加額1,029百万円及び法人税等の支払額887百万円が超過したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、431百万円の資金支出となりました。(前年同四半期は552百万円の資金支出)

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出407百万円及び差入保証金の差入による支出25百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,524百万円の資金収入となりました。(前年同四半期は1,041百万円の資金収入)

これは主に、短期借入金の純増額2,000百万円及び長期借入れによる収入50百万円が、長期借入金の返済による支出313百万円及び配当金の支払額164百万円を超過したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,340,595	3,176,860
売掛金	1,816,845	1,265,582
たな卸資産	9,765,638	10,794,455
その他	1,568,536	1,543,608
流動資産合計	15,491,616	16,780,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,039,414	3,113,210
土地	1,673,267	1,673,267
その他（純額）	601,084	616,501
有形固定資産合計	5,313,765	5,402,979
無形固定資産	375,462	334,694
投資その他の資産	2,125,590	2,147,095
固定資産合計	7,814,819	7,884,769
資産合計	23,306,435	24,665,275
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	730,400	668,240
短期借入金	2,700,000	4,700,000
1年内返済予定の長期借入金	591,512	522,538
未払法人税等	883,932	372,352
賞与引当金	486,492	423,597
役員賞与引当金	15,420	6,446
商品保証引当金	10,458	11,168
ポイント引当金	64,053	74,661
その他	878,462	714,472
流動負債合計	6,360,731	7,493,476
固定負債		
長期借入金	853,791	658,995
リース債務	170,930	122,629
役員退職慰労引当金	433,530	433,530
商品保証引当金	4,004	3,942
ポイント引当金	37,028	42,226
退職給付に係る負債	274,179	304,776
資産除去債務	86,939	87,718
その他	26,016	20,168
固定負債合計	1,886,420	1,673,988
負債合計	8,247,152	9,167,464
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	11,412,751	11,845,052
自己株式	△80,066	△80,066
株主資本合計	15,046,336	15,478,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,773	18,061
為替換算調整勘定	172	1,110
その他の包括利益累計額合計	12,946	19,172
純資産合計	15,059,283	15,497,810
負債純資産合計	23,306,435	24,665,275

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
売上高	18,188,306	19,495,709
売上原価	12,465,130	13,571,403
売上総利益	5,723,175	5,924,305
販売費及び一般管理費	4,566,953	4,989,682
営業利益	1,156,222	934,623
営業外収益		
受取利息	1,048	1,020
受取配当金	1,182	1,116
為替差益	—	21,946
受取手数料	3,908	4,168
助成金収入	2,765	2,290
協賛金収入	1,700	—
その他	1,409	2,793
営業外収益合計	12,013	33,335
営業外費用		
支払利息	12,722	12,621
その他	2,648	638
営業外費用合計	15,371	13,259
経常利益	1,152,865	954,699
特別利益		
受取保険金	19,978	—
特別利益合計	19,978	—
特別損失		
固定資産除却損	12,416	4,829
特別損失合計	12,416	4,829
税金等調整前四半期純利益	1,160,427	949,869
法人税等	455,330	353,218
少数株主損益調整前四半期純利益	705,097	596,650
四半期純利益	705,097	596,650

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	705,097	596,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,374	5,288
為替換算調整勘定	△72	937
その他の包括利益合計	2,302	6,225
四半期包括利益	707,399	602,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	707,399	602,876



（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,160,427	949,869
減価償却費	302,192	321,107
賞与引当金の増減額（△は減少）	48,515	△62,895
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△5,680	△8,974
退職給付引当金の増減額（△は減少）	21,105	—
商品保証引当金の増減額（△は減少）	3,221	649
ポイント引当金の増減額（△は減少）	10,686	15,806
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	30,597
受取利息及び受取配当金	△2,230	△2,137
支払利息	12,722	12,621
有形及び無形固定資産除却損	4,721	4,829
売上債権の増減額（△は増加）	104,341	565,452
たな卸資産の増減額（△は増加）	△948,839	△1,029,261
仕入債務の増減額（△は減少）	174,078	△61,837
未払消費税等の増減額（△は減少）	△43,321	△8,552
その他	△177,162	△126,056
小計	664,779	601,219
利息及び配当金の受取額	2,171	1,054
利息の支払額	△13,006	△12,900
法人税等の支払額	△498,000	△887,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,944	△297,850
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	5,000	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△509,597	△407,925
差入保証金の差入による支出	△47,322	△25,387
差入保証金の回収による収入	8,060	1,897
投資有価証券の取得による支出	△9,000	—
その他	400	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△552,460	△431,415
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,650,000	2,000,000
長期借入れによる収入	50,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△501,825	△313,770
リース債務の返済による支出	△47,047	△47,744
配当金の支払額	△109,621	△164,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,041,505	1,524,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,141	11,962
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	643,847	806,957
現金及び現金同等物の期首残高	2,111,223	2,848,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,755,071	3,655,934

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。